

63-2 航路標識の耐災害性強化対策(電源喪失対策) (和歌山県東牟婁郡串本町)

5か年加速化対策

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

効果概要: 非常用発電機を整備したことで、自然災害による長期停電時においても灯台の消灯事故などを防止できるようになり、航路標識の安定運用を図れるようになった。

府省庁名: 国土交通省 海上保安庁

■ 実施主体: 海上保安庁 第五管区海上保安本部

対策の概要: 非常用発電機を整備

■ 事業費: 約580万円

(うち5か年加速化対策による事業費 約580万円)

■ その他(対策の経緯)

令和元年房総半島台風や令和2年の台風の影響により、長期停電を原因とする航路標識の消灯事故などが発生したことを踏まえて対策を講じるもの。

対策前



整備前 非常用発電機

対策後



整備後 非常用発電機

